

委員長あいさつ

ITコーディネータ協会
業務開発・広報委員会 委員長 西岡 郁夫

皆さん、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

ビジネス志向の ITC 組織のなかで、協会の呼びかけに応じてビジネス立ち上げの事業計画を策定した“特にやる気のある ITC 組織”の皆さんと、それぞれの地域ワークショップを去年は3箇所（関西地区/京都、北陸地区/富山、中国地区/広島）で実施しました。

このワークショップの参加者からは、同じような立場で苦労している同士がいろいろ考え合って、実際に役に立つ本音の意見が聞けた、という点で非常に好評でした。そこで、今期は去年の倍の6地域での開催を計画しています。

今日は、その今期第一回目の関東地区ワークショップで、9/26（火）は大阪（近畿・四国地区）、11/1（水）は福岡（九州地区）に行く予定です。

（後期は2~3月に3箇所/中部、中国、近畿の各地区で開催予定）

昨年度から、業務開発・広報委員会の施策として、政府系金融機関である中小企業金融公庫と ITC 組織が連携して、大阪、埼玉、長崎の3地区で公庫のお客様を紹介してもらい経営者研修（IT 経営応援隊事業）を開催しました。特に大阪支店などは支店長以下とても熱心に協力していただき、素晴らしいお客様（経営者）を38社紹介してもらいました。そのうち、研修終了後も10社以上から IT コーディネータに引き続き相談の呼びかけがあり、本来、狙いとしている経営改革の実践、成果を目指して進もうとしています。

先日は、日本商工会議所で IT コーディネータの PR をしてきました。全国の中核都市から10箇所の各地商工会議所の IT 推進責任者に出席をいただき、IT コーディネータの役割やこれまでの実績・成功事例、商工会議所が実施している会員企業へのサービスを各地域の IT コーディネータ（組織）と連携しておこない、力を合わせて更に効果のあがるものにしていくための連携の提案、などをご説明しディスカッションをしました。

今日、ご説明いただく各組織からの計画の中にも、地域における金融機関、商工団体などとの連携が織り込まれていることと思いますが、協会としても、是非、こうした活動をバックアップしていきたいと考えています。

また、業務開発・広報委員会としては、昨年度、約3千名の IT コーディネータが回答したアンケートで寄せられた要望のなかで、「IT コーディネータの知名度がまだ低く、お客様の獲得に苦労している」との多くの意見に応えるための活動も重要な仕事だと思っています。協会事務局が東京において、各方面、各機関の方々とコンタクトし、情報発信を進め

ていくことはもちろんですが、本日のプログラムの最後に、それぞれの地域において、それぞれの IT コーディネータ（組織）が、自らの活動や成果を地域のマスコミや関係機関に情報発信する方法とその協会からのサポート内容を紹介します。

今年 5 月の全国コミュニティ大会で、IT コーディネータビジネス志向組織に対して、単に勉強するだけでなく商売としてビジネスを立ち上げたいという届出組織には事業計画書を策定し、提出するように呼びかけました。業務開発・広報委員会は、計画を提出した組織はやる気満々の組織ということで、これを優先的に支援しお客様を紹介していこう、と考えています。そして、各地域で商売をしようという強い意図を持ち、優れた能力と実績をもつ IT コーディネータを多く抱える組織が順次育っていただければと思っています。

そのために、まず、一番大事なことは、成功体験を共有するということです。今日は、皆さんの事業計画を説明していただきますが、それを聞きながら、全員で一つの地域の事業計画に対して「そういうやり方はうちにも使えるな」とか、「うちだったらこうだ」とか「うちだったらこうやっているのに、なんでこうしないの」とか、そういうアイデアをどんどん自由に発言してディスカッションを行い、みんなで体験を共有してほしいと思います。

また、後半には、既に立ち上がっている大阪の組織の「LLP.ITC-Labo.川端理事長」（今年度売上高：約 7 千万円）から成功の体験談を発表してもらいますが、各組織にはこの話をどう利用してもらえるか、有効に持ち帰ってもらえるか、というのが今日の勝負だと思うので、ぜひ、最後まで貪欲に吸収していただくようお願いしたいと思います。

以上